

IBM Marketing Platform
バージョン9 リリース0
2013 年 1 月 15 日

リリース・ノート

IBM

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、11 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Marketing Platform バージョン 8 リリース 6 モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Marketing Platform
Version 9 Release 0
January 15, 2013
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2013.1

© Copyright IBM Corporation 1996, 2013.

目次

第 1 章 システム要件および互換性.	1	サード・パーティーのソフトウェアに関連した問題	10
バージョン 9.0.0 の新機能と変更点.	1	特記事項	11
第 2 章 修正された問題	3	商標.	13
第 3 章 既知の問題	5	プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項	13
既知の制限.	6	IBM 技術サポートへの連絡	15

第 1 章 システム要件および互換性

このセクションでは、IBM® Marketing Platform の本リリースのシステム要件および互換性に関する情報をどこで入手できるかについて説明します。また、サード・パーティーのソフトウェアに対するサポートの変更点を説明します。

完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM EMM 製品のバージョンのリストおよびこの製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件」という文書を参照してください。この文書は、IBM サポート・ポータル Web サイト (<http://support.ibm.com>) の『詳細なシステム要件 (Detailed System Requirements)』の下に掲載されています。

注: サポート・ポータルから IBM EMM の文書にアクセスするには、IBM アカウントでログインする必要があります。このアカウントは、ご使用の IBM お客様番号に結び付けられている必要があります。アカウントの IBM お客様番号との関連についての詳細は、サポート・ポータルの「サポート・リソース」 > 「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

IBM EMM にログインした後、「ヘルプ」 > 「製品資料」を選択することによって、この文書にアクセスすることもできます。

バージョン 9.0.0 の新機能と変更点

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 9.0.0 における新機能と変更点について説明します。

アプリケーションの名前が変更されました

Unica Marketing Platform は、現在は IBM Marketing Platform と呼ばれています。「Unica」への言及は製品から削除されています。

ロシア語翻訳が使用可能になりました

Marketing Platform のユーザー・インターフェースおよび資料が、以前から使用可能な言語に加えて、ロシア語でも使用可能になりました。

アラートおよび通知が機能拡張されました

既存の通知機能は、次のように拡張されました。ユーザーを待っている通知の数がツールバーに表示されるようになり、ユーザーはツールバーからそれらの通知を管理できるようになりました。現在は、Distributed Marketing および Marketing Operations が通知を送信します。

アラートは新機能です。アラートは、ユーザーがログインしたときに、ポップアップ・ウィンドウに表示されます。Marketing Platform 9.0.0 のリリース時点で、アラート機能を使用する製品はありませんが、IBM EMM 製品によって導入が可能です。

管理者は Marketing Platform を構成して、E メール・バージョンの通知とアラートを送信することもできます。

ダッシュボードが機能拡張されました

以下の機能拡張がダッシュボードに実装されました。

- クイック・リンクは新機能です。クイック・リンクは IBM EMM 製品への事前に定義されたリンクです。一部のクイック・リンクでは、ユーザーは IBM EMM 製品にナビゲートせずにダッシュボード内で製品の基本アクションを実行できます。管理者は、選択したクイック・リンクのセットを含むポートレットを構成できます。事前に定義されたポートレットと同じセキュリティの考慮事項がクイック・リンクにも適用されます。

9.0.0 リリースの時点で、Marketing Operations のみがクイック・リンクを提供しています。

- 事前に作成されたダッシュボードは新機能です。事前に作成されたダッシュボードには、さまざまな対象者に応じたポートレットが含まれています。事前に作成されたダッシュボードは、Marketing Platform がインストールされると、直ちに使用可能になります。ただし、これらのダッシュボードを完全に実装するには、含まれているポートレットをサポートするのに必要な製品をインストールする必要があります。
- ダッシュボードは、Flash ベースの IBM Digital Analytics のレポートをサポートするようになりました。

第 2 章 修正された問題

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 9.0.0 における修正された問題について説明します。

RTC7285 (以前の DEF064072)	<p>前のバージョンの Marketing Platform では、時折、インストール時に致命的でないエラー・メッセージが表示されることがありました。これらのメッセージは混乱を招き、重大な問題を示してはいなかったため、削除されました。</p> <p>以下の 4 つのエラーが削除されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• Install Action: SQL Script '\$ManagerSchema_SqlServer.sql' <p>Status: ERROR</p> <p>Additional Notes: ERROR - ZeroGahc - An error occurred while running the script: (2714) There is already an object named 'USM_USER' in the database.</p> <ul style="list-style-type: none">• Install Action: SQL Script '\$ManagerSchema_SqlServer_CreateFKConstraints.sql' <p>Status: ERROR</p> <p>Additional Notes: ERROR - ZeroGahc - An error occurred while running the script: (2714) There is already an object named 'FK_USM_RR_MAP_ROLE' in the database.</p> <ul style="list-style-type: none">• Install Action: SQL Script '\$quartz_sqlServer.sql' <p>Status: ERROR</p> <p>Additional Notes: ERROR - ZeroGahc - An error occurred while running the script: (2714) There is already an object named 'QRTZ_CALENDARS' in the database.</p> <ul style="list-style-type: none">• Custom Action: com.unica.install.ia.custom.ConfigurationTool <p>Status: ERROR</p> <p>Additional Notes: ERROR - class com.unica.install.ia.custom.ConfigurationTool NonfatalInstallException Duplicate configuration path name: "Affinium suite uiNavigation".</p>
DEF063223	Cognos® レポートの Excel 版を表示するために、Internet Explorer 8 の設定を調整する必要がなくなりました。
DEF051431	役割名およびポリシー名に非 ASCII 文字がサポートされるようになりました。

第 3 章 既知の問題

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 9.0.0 における既知の問題について説明します。

インストーラー・ログの場所 が AIX で正しく表示されない	RTC7408	ユーザーのホーム・ディレクトリーが / に設定されているとき (AIX 上の root ユーザーの場合)、インストーラー・ウィザードに表示されるインストーラー・ログ stdout および stderr の場所が不正確でした。IBM EMM インストーラーを root として実行することは必須の要件ではありません。AIX システムで root としてインストーラーを実行する場合、// ディレクトリーでログを見つけることができます。
クラスタリングの制限	RTC8834	クラスタで Marketing Platform を使用する場合、およびこのクラスタでスケジューラーを使用している場合、スケジューラーが期待どおりに動作しないことがあります。スケジューラーを使用してフローチャートをスケジューラーに入れている場合、Marketing Platform をクラスタ化しないでください。
インストーラーはサポートされないインプレース・アップグレードを許可する	RTC9846	バージョン 7.5.x からバージョン 9.0.0 への直接のインプレース・アップグレードはサポートされていませんが、インストーラーは、エラー・メッセージまたは確認プロンプトを出さずに、以前のバージョンがインストールされていたのと同じディレクトリーへのインストールを実行します。「IBM Marketing Platform インストール・ガイド」の指示に従って、バージョン 9.0.0 にアップグレードしてください。
Cognos 10.1.1 の 64 ビット・バージョンはサポートされていない	RTC11447	Cognos 10.1.1 をインストールする場合、32 ビット・バージョンのアプリケーションのみがサポートされていることに注意してください。しかし、32 ビット・バージョンの Cognos は 64 ビット・オペレーティング・システムにインストールできます。
最近表示されたページへのリンクが機能しない場合がある	RTC10141	Campaign の最近表示されたページへのリンクが機能しない場合があります。これが最も頻繁に発生するのは、Campaign がマルチバイト言語でローカライズされている場合です。キャンペーンはフォルダーに保管され、フォルダーにはフローチャートが含まれます。最新項目リストを作成するには、キャンペーン、フォルダー、およびフローチャートの名前を Cookie に保管します。Cookie には 4K のサイズ制限があり、特にシステムがマルチバイト文字を使用するときに、これを超過する可能性があります。 1 つの回避策は、キャンペーン、フォルダー、およびフローチャートにより短い名前を指定すること、およびキャンペーン用に深くネストされたフォルダー構造を作成するのを防ぐことです。代わりに回避策は、Cookie をクリアして、ログアウトすることです。これにより、最近使用した項目のリストがリセットされます。

既知の制限

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 9.0.0 における既知の制限について説明します。

レポート・フォルダーの権限はパーティション間で同期する	DEF045222	マルチパーティション環境では、1 つのパーティションでレポート・フォルダー権限を同期すると、他のパーティションへのフォルダー権限もそのパーティションに追加されます。現在のパーティションに属さないフォルダーの同期では、権限の問題は何も生じません。
アップグレード後の一部の Campaign 構成プロパティーが正しくない	DEF045746	<p>Campaign のバージョンを 7.x から 8.1.0 にアップグレードした場合、一部の構成プロパティーが正しくありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部のプロパティー表示名に「Affinium」が表示されます。この名前の不整合によって機能が影響を受けることはありません。 Campaign カテゴリに、Campaign 8.1.0 では使用されない「unicaUdiSvr」カテゴリおよびそのプロパティーが表示されます。 <p>configTool ユーティリティーを使用して、表示名から「Affinium」を除去したり、「unicaUdiSvr」カテゴリを除去したりすることができます。以下に、これを行う方法について例を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Marketing Platform のインストール済み環境の tools/bin ディレクトリーでコマンド・ウィンドウを開きます。 configTool を使用して、すべての Campaign プロパティーをファイルにエクスポートします。以下の例のコマンドは、tools/bin ディレクトリーにある campaignProperties.xml という名前のファイルにプロパティーをエクスポートします。 <pre>configTool -x -p "Affinium Campaign" -f campaignProperties.xml</pre> <ul style="list-style-type: none"> テキスト・エディターまたは XML エディターでエクスポートされたファイルを編集します。 configTool を使用して、改訂されたファイルを上書きオプションでインポートします。以下に例を示します。 <pre>configTool -i -p "Affinium" -f campaignProperties.xml -o</pre>

7.2.x から 7.5.x へのアップグレードの際にパーティション・メンバーシップが失われる	DEF046155、 DEF046162	Affinium Manager のバージョンが 7.5.x よりも前である場合、Marketing Platform バージョン 8.x へアップグレードする前に 7.5.1 にアップグレードする必要があります。Affinium Manager 7.5.1 のアップグレード・スクリプトは、パーティション・メンバーシップを自動的に保持しません。代わりに、Marketing Platform 8.x にアップグレードする前に手動でパーティション・メンバーシップを復元する必要があります。このプロセスは「Marketing Platform インストール・ガイド」に説明されています。
Active Directory ユーザーが NetInsight または Customer Insight にログインできない	DEF046778	Marketing Platform が Active Directory と統合している場合、Active Directory または LDAP サーバーと同期しているユーザーは Digital Analytics for On Premises または CustomerInsight にログインできません。
IBM EMM アプリケーションをアンインストールしてもそのメニュー項目が除去されない	DEF047048	IBM EMM アプリケーションをアンインストールしても、そのアプリケーションのメニュー項目が「構成」ページに残ります。それらを除去するには、「構成」ページに移動し、「Platform Platform 全体のナビゲーション」カテゴリーの下にある適切なメニュー設定を探して「カテゴリーの削除」をクリックします。
LDAP グループ・マッピングを削除してもマップされたグループからユーザーを除去できない	DEF047290	「構成」ページから LDAP グループ・マッピングを削除した場合、マップされたグループにインポートされたユーザーはそのグループから除去されません。グループからユーザーを手動で除去してください。
レポートの実行を取り消すとエラーが生じる	DEF047550	実行中のレポートを取り消した後、別のレポートを実行しようとするときエラー・メッセージが表示されます。「分析」メニューを選択して再度レポートを実行してください。
長さの制限を超えた役割名を入力すると情報が足りないエラー・メッセージが表示される	DEF047639	役割名に 120 文字 (長さの制限) を超えて入力すると、「エラー 500 -- 内部サーバー・エラー (Error 500--Internal Server Error)」というエラーが表示されます。メッセージは長さの制限を示すものであるべきです。

Windows 統合ログインを使用した「ログアウト」リンクが冗長である	DEF047870	Marketing Platform が Windows Active Directory と統合されていて、Windows 統合ログインが有効な場合、「ログアウト」リンクを使用してログアウトすることはできません。「ログアウト」をクリックした場合、ブラウザ・セッションは終了し IBM EMM をログアウトしたように見えますが、再度自動的にログインします。IBM EMM をログアウトしたら、ブラウザを閉じてください。
「プリファレンスの編集」を使用して「開始」ページを設定するときに IBM EMM URL を使用できない	DEF050523	ユーザー用の「プリファレンスの編集」ページを使用してそのユーザーの「開始」ページを設定する場合、初期 IBM EMM ログイン URL (http://host:port/unica) を使用すべきではありません。使用すると問題が起きます。
スロットル・グループ名では非 ASCII 文字は許可されない	DEF050689	スケジューラーのスロットル・グループを作成する場合に非 ASCII 文字を使用するとエラー・メッセージが表示されます。スロットル・グループ名には ASCII 文字のみを使用してください。
「構成」ページでのローカライズの問題	DEF048882、 DEF050265、 DEF050787	「構成」ページに次のローカライズの問題があります。 <ul style="list-style-type: none"> 「構成」ページの IBM EMM 製品名はローカライズされていますが、それらはローカライズされているべきではありません。さらに、ローカライズされるべき他のコンテンツがローカライズされていません。 「構成」ページから「設定」メニューにアクセスすると、メニュー項目がローカライズされていません。 カテゴリ・テンプレートを使用して作成されたカテゴリ名では非 ASCII 文字はサポートされていません。

7.5.x から 8.x へのアップグレード中にエラーが発生する	DEF050735	<p>Affinium Manager 7.5.x から Marketing Platform 8.x にアップグレードする場合、既存の Manager システム・テーブルに格納されているデータ・ソース・キーは非暗号化し、その後 8.x のデータベースに格納するために再度暗号化しなければなりません。</p> <p>(encryptPasswords -k) を使用して 7.5.x で鍵ストア・パスワードを変更しており、かつ Platform が AIX® にインストールされているのでない場合、次の手順を使用して問題を解決することができます。</p> <p>この回避策は、Platform が AIX にインストールされている場合には適用されません。その場合、IBM EMM にログインし、データ・ソースのパスワードを手動で変更する必要があります。</p> <p>この手順では、最新の Java™ Cryptography Extension (JCE) Unlimited Strength Jurisdiction Policy Files 5.0 を持っていることを確認します。</p> <p>これらのファイルは、http://java.sun.com/javase/downloads/index_jdk5.jsp からダウンロードします。</p> <p>Java Cryptography Extension (JCE) Unlimited Strength Jurisdiction Policy Files 5.0 にスクロールし、以下を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Manager 7.5.x インストールの JRE に更新済みの JCE Unlimited Strength Jurisdiction ファイルがあることを確認します。ダウンロードの説明に従って、local_policy.jar および US_export_policy.jar を jre/lib/security ディレクトリにコピーします。 2. encryptPasswords -k を使用して、鍵ストア・パスワードを再び暗号化します。 3. Platform インストーラーで提供されている JRE を使用しない場合、使用する予定の JRE の JCE Unlimited Strength Jurisdiction ファイルの更新も行います。 4. Platform インストーラーを実行します。これにより、鍵が 8.x に移行されます。 <p>JCE の更新が行われないか、Platform システム・テーブル・データベースが AIX であるためにこの回避策を使用できなかった場合、以下のエラーが表示される可能性があります。</p> <p>ファイル [<code><INSTALL_DIR>%Affinium%Manager%conf%kfile</code>] から鍵を取得できませんでした。原因: 鍵のサイズが正しくありません。(Cannot retrieve the key from the file [<code><INSTALL_DIR>%Affinium%Manager%conf%kfile</code>], cause: Illegal key size)</p> <p>javax.crypto.BadPaddingException: 埋め込みブロックが破損しています (javax.crypto.BadPaddingException: pad block corrupted)</p> <p>このエラーが発生する場合、IBM EMM にログインし、データ・ソースのパスワードを手動で変更します。</p>
----------------------------------	-----------	---

ユーザー名にスペースまたは句読文字を含めることができない	DEF051877	ユーザーのログイン名にスペースまたは句読文字が含まれていると、ユーザーはページ間を移動でき、IBM EMM を正常に使用することができませんが、JavaScript のエラーがすべてのページに表示されてしまいます。ユーザー・アカウントのログイン名にはスペースまたは句読文字を含めないでください。
グループ名、役割名、およびポリシー名に非 ASCII 文字がサポートされない	DEF051431	グループ名、役割名、またはポリシー名に非 ASCII 文字を使用しようとする、「英数字のみ使用してください」というエラー・メッセージが表示されます。これらの名前に非 ASCII 文字を使用しないでください。
複製する役割名は許可されない	DEF051895	Affinium Manager 7.5.x では複製する役割名は許可されていました。Marketing Platform 8.0.0 以降、複製する役割名は許可されません。7.x から 8.x にアップグレードしていて、同じ名前の役割が複数ある場合、アップグレードの前に名前を変更して複製が存在しないようにしてください。
Platform 7.5.x のアップグレード用ディレクトリーに対するインストーラーのメッセージが分かりにくい	DEF051952	Marketing Platform を 7.5.x から 8.1.0 にアップグレードする場合、インストーラーによって 7.5.x バージョンをインストールするディレクトリーを指定するようにプロンプトが出されます。インストーラーがそのディレクトリーにインストール・レジストリーを見つけることができない場合、「インストーラーは [ディレクトリー] に指定されたマネージャー・アップグレード・ディレクトリーを見つけることができませんでした」というメッセージが表示されます。アップグレード中にこのメッセージが表示された場合、指定したディレクトリーが正しいことを確認し、アップグレードを続行してください。

サード・パーティーのソフトウェアに関連した問題

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 9.0.0 におけるサード・パーティーのソフトウェアに関連した問題について説明します。

特定の Oracle バージョンでマテリアライズ・ビュー SQL の生成時に障害が起こる	DEF041909	Marketing Platform のシステム・テーブル・データベースが Oracle の特定のバージョンの場合、レポート作成 SQL ジェネレーターを使用してマテリアライズ・ビューを作成すると障害が起きます。これは Oracle の障害 6485782 が原因です。この問題は Oracle バージョン 11.1.0.7 (サーバー・パッチ・セット) で修正されていません。
--	-----------	---

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
170 Tracer Lane
Waltham, MA 02451
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することが

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件の考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、

および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。

IBM 技術サポートへの連絡

文書を参照しても解決できない問題があるなら、指定されているサポート窓口を通じて IBM 技術サポートに電話することができます。このセクションの情報を使用するなら、首尾よく効率的に問題を解決することができます。

サポート窓口が指定されていない場合は、IBM 管理者にお問い合わせください。

収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質の要旨。
- 問題発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細な記録。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手した製品およびシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートに電話すると、実際の環境に関する情報について尋ねられることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、インストールされている IBM のアプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページは、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択することにより表示できます。「バージョン情報」ページを表示できない場合、どの IBM アプリケーションについても、そのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを表示することにより、各アプリケーションのバージョン番号を入手できます。

IBM 技術サポートのコンタクト情報

IBM 技術サポートとの連絡を取る方法については、IBM 製品技術サポートの Web サイト (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。



Printed in Japan